



**【防災・減災】12/5・6 第5回スタディツアー:気仙沼編**

12/5の夜に希望者のみを対象にスタッフからミニ報告会を行い、翌日は気仙沼に向かいました。



気仙沼に行く途中、南三陸町の志津川で防災庁舎や仮設商店街を訪問しました。2年ぶりくらいに来た方は、「いわゆる瓦礫はなくなったけど、あまり復興は進んでいないんだな」と感じたようでした。

それからJLERが再建支援をした気仙沼市本吉町の前浜コミュニティセンターへ。建設委員会の広報担当で、となりびとスタッフでもある畠山さんに、再建の経過などをお話してもらいました。



その後、気仙沼観光コンベンションセンターの「震災復興語り部」の方に同乗していただいて、被害の大きかった鹿折地区や10月に解体が終わり更地になった共徳丸があった地域、地盤沈下してしまった地域などを回りながら、語り部の方が実際に体験したことなどをお話いただきました。



**【防災・減災】12/8 防災講演会@東京教会**

今回の講師は、気仙沼市の介護施設リバーサイド春園の施設長(当時)さんです。会場には30人以上の方がいらして下さり、お話を聞き入っていました。

ルーテル教会にも福祉施設などがありますが、福祉施設として今回どのような震災体験をしたのかといった点を中心にお話いただきました。

リバーサイド春園は、今回の津波などで多くの犠牲者を出しつつも、一方で多くの高齢者を守った施設でもあります。講師からは、震災当日の話、津波から高齢者を守った話、寒い夜をどう乗り切ったか、また避難所での話などをして頂きました。



また震災後にとったアンケート結果などを踏まえ、どのような備えが今後必要かといった話をして頂きました。

**【支援者支援】12/10 対人援助職のためのサポート講座@岩沼市**

第3回目となる今回は、岩沼市内などの介護事業所から20名を超える参加者がありました。講師はルーテル学院大の包括的臨床死生学研究所の福山和女教授をはじめ3人の方がつとめてくださりました。

今回も参加者に話してもらい、感じてもらい、考えてもらうような組み立てになっており、3時間という長丁場だったものの「あっという間だった」と言う参加者もあり、今回も参加者にとっては充実した時間となったようでした。



被災地の介護の現場も人手が足りず、お一人おひとりの負担が大きい現状が続いています。少しでもその負担を軽くするようなサポートになればと思って開催した今回の講座ですが、みなさんの最後の感想を聞いていると今回の企画は少しは役に立ったようで、ほっとしました。

**【支援者支援】12/26 カラーセラピー講座@石巻市社協河北支所**

石巻市社協河北エリアの仮設訪問支援員の方たちを対象にした第2回目のカラーセラピー講座を開催しました。今回は、1回目を受けてカラーヒストリーについて講師の方からお話があり、その後、実際に塗り絵をしてみ、ある特定の色が自分



のある気持ちや経験とつながっていることを体験しました。ある参加者の方は、講師の方からの指摘に驚きながらも関心していました。この講座はあと3回行われます。

**【お知らせ】支援品の購入方法が変わりました**

これまでとなりびとが仲介していた支援品販売の全てが、2014年1月より、生産者の方から直接購入という形になりました。今後も引き続きご購入いただけるように、購入方法や注文票をまとめたマニュアルを作成いたしました。



メール・FAX・郵送でお送りできます。ご希望の方は野口までご一報ください。

(090-1990-8518、又は、k-noguchi@jelc.or.jp)

**東日本大震災ルーテル教会救援 2013年12月活動概要**

1. 活動地域	宮城県 (気仙沼市、石巻市、東松島市、登米市) 福島県 (南相馬市)
2. ボランティア受け入れ	12月 1名 (教会1名/学校0名)
3. 防災・減災教育	12月 スタディツアー (1件:6名)
4. 報告活動	12月 現地見学会 (0件:0名)、報告会 (0ヶ所)、つるしびな全国巡回展 (1ヶ所)
5. 仮設支援の実績	12月 お茶会8回 (のべ67名)、パソコン教室3回 (のべ16名)
6. 被災地関連商品の販売実績	12月 70,000円 (教会2件/その他2件)